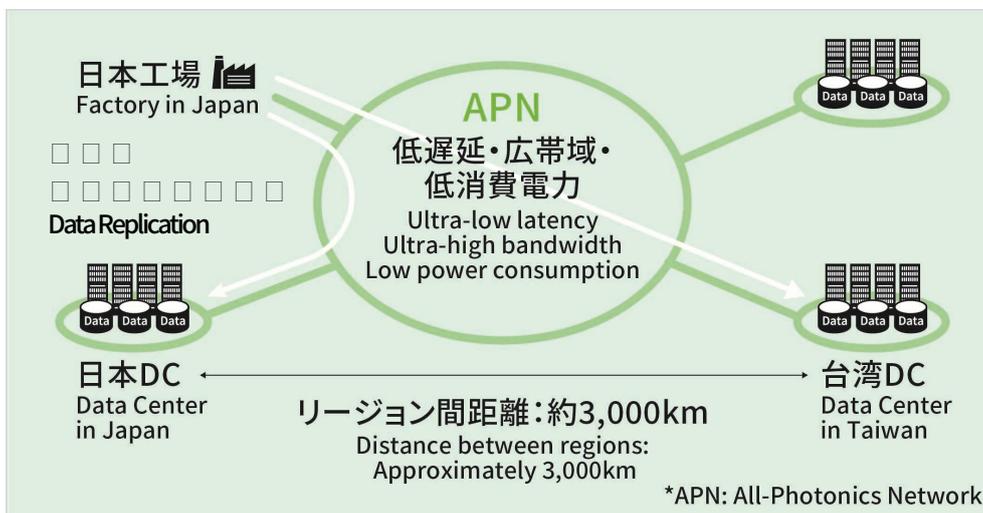


国際APNを活用したデータレプリケーション

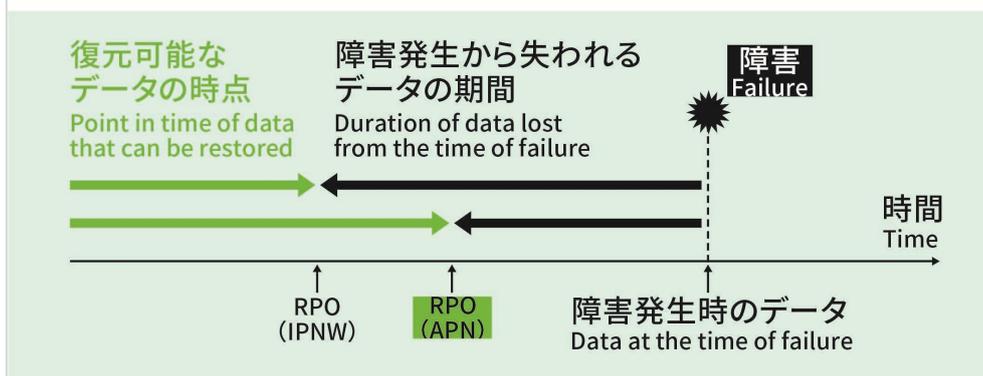
長距離・国際間での超高速なデータ転送を用いて災害発生時のシステム復旧（DR: Disaster Recovery）の時間を最小化します

#レジリエンス



APN活用によりデータ喪失時間の大幅な短縮を実現

Significantly Reduced Data Loss Time through the Use of APN



///技術課題

従来のデータレプリケーションにおいては、NW遅延によるデータ転送性能の低下により、長距離間の高頻度なレプリケーションが困難でした。

///研究目標

ディザスタリカバリ向けのストレージ製品、NTTのセキュリティプロダクト、国際APNを組み合わせた、RPOが短くセキュアな非同期レプリケーションを実現します。

---要素技術

APN (All Photonics Network)
各ストレージベンダのデータレプリケーション機能

---適用ビジネス

- ・ ビジネス領域：金融業、製造業
- ・ ユースケース例：DR向けの長距離・異国間データレプリケーションにおけるRPO短縮のニーズを持つユースケースに活用可能
日本に拠点を持つ台湾の製造企業の場合
1) 日本の工場から海外のDCにデータをバックアップする 2) 台湾本社のデータを日本のDCにバックアップする
- ・ 提供時期：サービス提供予定時期：2025/3Q

---市中技術差異点

APNを活用することで、RPO（データ喪失時間）を大幅に短縮した、長距離・異国間のデータレプリケーションを提供
また、NTTの研究開発による高度なセキュリティ技術（耐量子セキュアトランスポート技術）を組み合わせることで、将来的な量子計算機実用化後に想定される暗号危殆化にも対応可能な安全性を提供

※RPO (Recovery Point Objective)データ損失を許容できる最大時間。つまり、障害発生から復旧可能なデータの時点を示す